

別表1

2025年度 美容科 教育課程

区 分			教 育 科 目	履 修 科 目 名	1 年				2 年				合 計		
					前期		後期		前期		後期				
					単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	
必修科目	美容基礎分野	講義	関係法規・制度	関 係 法 規 ・ 制 度								1	30	1	30
			衛 生 管 理	衛 生 管 理 I			1	30					1	30	
				衛 生 管 理 II					1	30			1	30	
				衛 生 管 理 III							1	30	1	30	
			保 健	保 健 I			1	30					1	30	
				保 健 II					1	30			1	30	
				保 健 III							1	30	1	30	
			香 粧 品 化 学	香 粧 品 化 学 I			1	30					1	30	
				香 粧 品 化 学 II					1	30			1	30	
			文 化 論	文 化 論 I	1	30							1	30	
		文 化 論 II								1	30	1	30		
		美 容 技 術 理 論	美 容 技 術 理 論 I	1	30							1	30		
			美 容 技 術 理 論 II			1	30					1	30		
			美 容 技 術 理 論 III					1	30			1	30		
			美 容 技 術 理 論 IV							1	30	1	30		
			美 容 技 術 理 論 V							1	30	1	30		
		運 営 管 理	運 営 管 理	1	30							1	30		
		実習	美 容 実 習	美 容 実 習（カ ャ ッ ト 基 礎）	1	30							1	30	
				美 容 実 習（パ ー マ 基 礎）			1	30					1	30	
				美 容 実 習（カ ラ ー 基 礎）			1	30					1	30	
	美 容 実 習（応 用 実 習）							3	90			3	90		
	美 容 実 習（ワ イ ン デ ィ ン グ I）			3	90							3	90		
	美 容 実 習（ワ イ ン デ ィ ン グ II）					1	30					1	30		
	美 容 実 習（ワ イ ン デ ィ ン グ III）							1	30			1	30		
	美 容 実 習（ウ ェ ー プ）					2	60					2	60		
	美 容 実 習（着 付 け）			1	30							1	30		
	美 容 実 習（まつ毛エクステンション）					1	30					1	30		
	美 容 実 習（メ イ ク）			2	60							2	60		
	美 容 実 習（ネ イ ル）			2	60							2	60		
	美 容 実 習（シャンプー・ヘッドスパ）			1	30							1	30		
	美 容 実 習（ヘ ア ア レ ン ジ）			1	30							1	30		
	必修科目 計					14	420	10	300	12	360	12	360	48	1,440
	選択科目	美容専門分野	講義 実技 実習 研修	美 容 実 習	美 容 総 合（筆 記 試 験 対 策 I）							2	60	2	60
					美 容 総 合（筆 記 試 験 対 策 II）							1	30	1	30
美 容 総 合（実 技 試 験 対 策）											1	30	1	30	
ヘ ア ケ ア マ イ ス タ ー									1	30			1	30	
ヘ ア デ ザ イ ン 専 攻 I（専 攻 授 業）							2	60					2	60	
ヘ ア デ ザ イ ン 専 攻 II（専 攻 授 業）									4	120			4	120	
メ イ ク・ブ ラ イ ダ ル 専 攻 I（専 攻 授 業）							2	60					2	60	
メ イ ク・ブ ラ イ ダ ル 専 攻 II（専 攻 授 業）									4	120			4	120	
美 容 実 習（コ ン テ ス ト）					1	30							1	30	
美 容 実 習（サ ロ ン ワ ー ク I）					1	30	1	30					2	60	
美 容 実 習（サ ロ ン ワ ー ク II）									1	30			1	30	
イ ン タ ー ン シ ッ プ I							1	30					1	30	
イ ン タ ー ン シ ッ プ II									1	30			1	30	
パ ー ソ ナ ル カ ラ ー I							1	30					1	30	
パ ー ソ ナ ル カ ラ ー II									1	30			1	30	
ビ ュ ー テ ィ ビ ジ ネ ス					1	30							1	30	
ビ ュ ー テ ィ・コ ー デ ィ ネ ー タ ー							1	30					1	30	
キャリア基礎力分野		講義 実技	キャリアデザイン	キ ャ リ ア デ ザ イ ン			1	30					1	30	
				サ ー ビ ス 接 遇	1	30							1	30	
ビジネス基礎力分野		講義 実技	ビジネス能力	基 本 I T 技 術			1	30					1	30	
				プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン			1	30					1	30	
				ビ ジ ネ ス 文 章 力			1	30					1	30	
				ビ ジ ネ ス 英 語			1	30					1	30	
				イ ベ ン ト プ ロ デ ュ ー ス I			1	30					1	30	
				イ ベ ン ト プ ロ デ ュ ー ス II							1	30	1	30	
				ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 I			1	30					1	30	
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 II					1	30			1	30					
選択科目 計					4	120	15	450	13	390	5	150	37	1,110	
総計(必修Ⅰ＋選択)					18	540	25	750	25	750	17	510	85	2,550	

※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。

※科目履修(単位)認定の要件: 80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

※卒業の要件:必修科目48単位(1440時間)及び選択科目20単位(600時間)以上 計68単位(2040時間)以上の履修

1 科目名		美容実習（応用実習）		2 学科名 （コース名）		2023年度シラバス 美容科（昼）		3 学年		2学年					
4 授業形態		実習		学期		前期		5 開講年月		4月		6 該当資格区分		国家資格	
7 教育課程区 分		必修		8 単位数		3		9 時間数		90		10 該当資格名称		美容師国家資格	
11 科目の概要 （全コマ数を俯瞰して）		美容師として必要なカット、カラー、パーマの技術を1つのスタイルとして理解し完成することが出来る。 お客様に対して癒しの技術としてヘッドキュアの技術を身につける。													
12 科目の到達目標 （教育課程の位置づけ）		美容師に必要な技術としてのカット、カラー、パーマを作品作りを通して理解し、イメージしたスタイルを完成する事ができる。 ヘッドスバの技術の繋がるヘッドキュアの技術を身につけ、検定取得する。													
13 受講条件		美容実習（カット基礎）、美容実習（カラー基礎）、美容実習（パーマ基礎）の単位履修													
14 教科書名		美容実習Ⅰ、理論Ⅰ、オリジナル教材							15 教材名		授業内容に沿ったオリジナル教材				
16 設備名・機器名		撮影照明機材一式、シャンプー台							17 関連サイト						
18 関連前科目		美容実習（カット基礎）、美容実習（カラー基礎）、 美容実習（パーマ基礎）							19 関連後科目		美容実習（国家試験課題 総合Ⅱ）、美容総合（実技試験対策）				
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位												20.			
回（コマ）		開講日		授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標						使用教科書・教材			
第1回		4月14日		AWウィッグのカット		AWウィッグのカットを行い、その後の実習授業を円滑に行う土台作りをする									
第2回		4月14日		AWウィッグのカット		AWウィッグのカットを行い、その後の実習授業を円滑に行う土台作りをする パーマ後にセニングカットまで実施し、ピンカール作成をしやすくする									
第3回		4月28日		特別授業		トップスタイリストによる技術を間近で見て、今後のスタイルの発想や最新の技術を知るきっかけにする。									
第4回		4月28日		特別授業		トップスタイリストによる技術を間近で見て、仕上げ方やスタイリングの方法を知り、作品作りなどの活かす。									
第5回		5月12日		外部授業		同じ美容学生のフォトコンテストの作品を見学し、他校のレベルや想像力を身につける									
第6回		5月12日		外部授業		トップスタイリストのステージを見学し、パフォーマンス力や表現力を知るきっかけとする。									
第7回		5月19日		外部イベント参加		同じ美容学生や有名サロンの方のステージを見学し、自分のレベルを知る機会にするとともに、スタイリストの技術を見て、今後の目標を見つけ成長のきっかけとする。									
第8回		5月19日		外部イベント参加		ステージで行われる美容技術を見学し、サロンワーク以外での美容師の活躍の場を知り、今後に繋げるきっかけとする。									
第9回		5月26日		外部イベント参加		他校の美容学生のステージを見学し、技術レベルを知り、その後の授業や将来の美容師になった時に活かす。美容師のショーを通して、将来の目標を設定する機会とする									
第10回		5月26日		外部イベント参加		ステージ参加学生は、4月から放課後を利用し作り上げてきたショーの成果を発揮する 今回の経験を今後に活かす。									
第11回		5月30日		フォト作品作り		フォトコンについて内容を理解し、作品作りの方法や手順を知り、作りたい作品のイメージを完成させる。									
第12回		5月30日		フォト作品作り		仕上がりイメージを用紙に書き込む。カットの展開図やカラー剤、メイクイメージ図を完成させる。									
第13回		6月2日		フォト作品作り		フォト作品を作っていく。 作品作りの手順に沿って、カットやカラーをイメージを確認しながら行っていく。									
第14回		6月2日		フォト作品作り		作品の全体のイメージを見ながら、メイクやファッション、撮影の際に必要な小道具などを作成していく。									
第15回		6月5日		ヘッドキュアを知る		ヘッドキュアの技術を知り、必要性を理解する。									
第16回		6月5日		ヘッドキュアを知る		ヘッドキュアの技術を知り、実践し体感する。									
第17回		6月16日		企業連携授業 ウィッグを使用したスタイル		ウィッグを使用し、サロンスタイルを完成する 指導された通りにカットが出来る（仮：ロングスタイル）									
第18回		6月16日		企業連携授業 ウィッグを使用したスタイル		カットしたウィッグを使用して、カラー技術を施したスタイリングまで行う。 指導された通りにカラーやスタイリングが出来る									
第19回		6月17日		外部イベント参加		ASIA BEAUTY EXPO2025に参加し、有名スタイリストの技術をまじかで見学する									
第20回		6月17日		外部イベント参加		ASIA BEAUTY EXPO2025に参加し、セミナーやメーカーのブースを見学し新しい技術や知識を得る									
第21回		6月23日		ヘッドキュア技術を理解する		手技を理解し、実践する事ができる									
第22回		6月23日		ヘッドキュア技術を理解する		手技を理解し、実践する事ができる									
第23回		6月26日		コンテストに向けて課題実施		7月にあるコンテストに向けて、出場予定の課題に取り組み入賞を目指す									
第24回		6月26日		コンテストに向けて課題実施		今後実施されるコンテスト参加に向けて、出場予定の課題に取り組み入賞を目指す									
第25回		6月27日		ヘッドキュアの知識を身につける		ヘッドキュアの技術と理論を理解する									
第26回		6月27日		ヘッドキュアの知識を身につける		ヘッドキュアの技術と理論を理解し、説明できる									
第27回		6月30日		コンテストに向けて課題実施		7月にあるコンテストに向けて、出場予定の課題に取り組み入賞を目指す									
第28回		6月30日		コンテストに向けて課題実施		今後実施されるコンテスト参加に向けて、出場予定の課題に取り組み入賞を目指す									
第29回		7月3日		フォト作品作り		カットカラーを各自のテーマを元に形にし、ヘア以外の箇所についてもテーマを沿うように工夫をしながら、実施していく									
第30回		7月3日		フォト作品作り		形にしたものに対して、カットであれば展開図、カラーであればカラー剤の調合や塗布の方法などを提出用プリントに記載、今後の作品作りのベースにする									
第31回		7月7日		外部コンテスト		コンテスト参加課題に対して、真剣に取り組み自分の設定した目標を達成させる									
第32回		7月7日		外部コンテスト		他校の学生の技術レベルを知る機会とし、今後の自分自身のレベルアップに繋げる									
第33回		7月7日		外部コンテスト		美容師の方の技術を見学し、将来の目標を見つける機会にする									

第34回	7月11日	フォト作品作り	トータル的に仕上がった作品を撮影する	
第35回	7月11日	フォト作品作り	ファッションや撮影用の小物など、テーマのイメージに必要な物を準備、次回の撮影を円滑に行う	
第36回	7月24日	ヘッドキュア検定	実技試験/筆記試験合格レベルを目指す	
第37回	7月24日	ヘッドキュア検定	実技試験/筆記試験合格レベルを目指す	
第38回	7月28日	フォトコン 作品撮影	自分のイメージするテーマに沿った作品と仕上がりを含めて準備し、撮影する	
第39回	7月28日	フォトコン 作品撮影	撮影した作品を振り返り、今後に繋げる	
第40回	7月31日	ヘッドキュア検定（再）	検定不合格者は、再受験し合格を目指す 検定合格者は、ヘッドキュアの実践的な技術を習得する	
第41回	7月31日	ヘッドキュア検定（再）	検定不合格者は、再受験し合格を目指す 検定合格者は、ヘッドキュアの実践的な技術を習得する	
第42回	8月4日	企業連携授業 ウィッグを使用したスタイル	ウィッグを使用し、サロンスタイルを完成する 指導された通りにカットが出来る（仮：ミディアムスタイル）	
第43回	8月4日	企業連携授業 ウィッグを使用したスタイル	カットしたウィッグを使用して、カラー技術を施しスタイリングまで行う。 指導された通りにカラーやスタイリングが出来る	
第44回	8月25日	企業連携授業 ウィッグを使用したスタイル	ウィッグを使用し、サロンスタイルを完成する 指導された通りにカットが出来る（仮：ショートスタイル）	
第45回	8月25日	企業連携授業 ウィッグを使用したスタイル	カットしたウィッグを使用して、カラー技術を施しスタイリングまで行う。 指導された通りにカラーやスタイリングが出来る	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。

ヘッドキュアに関して、検定習得レベルの技術を身につける
 フォトコン作品に関して、テーマに沿った作品を完成させることと撮影を実施しコンテストに参加すること
 企業連携授業については、ご指導頂く方のスタイルを完成させることと授業内でご指導頂いた内容をレポートに記入し提出

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験							秀（S）：100点～90点
②確認テスト							優（A）： 89点～80点
③課題レポート			4位			5%	良（B）： 79点～70点
④授業態度			1位	2位		90%	可（D）： 69点～60点
⑤作品					3位	5%	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション							
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	小林昌子	シラバス承認者	山根大助	授業担当教員	福井純子
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/

更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2023年度シラバス

科目名 ¹	美容実習（シャンプー・ヘッドスパ）		学科名 (コース名) ²	美容科（昼）			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	デミドゥ スカルプコーディネーター	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 シャンプー、トリートメント、ヘッドスパに関する基礎知識、理論、技術を学び、実際の施術が安全かつ効果的に行えるようになる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 髪と頭皮の構造と機能を理解する/シャンプー、トリートメント、ヘッドスパの理論と技術を習得する							
受講条件	13 美容科に在籍している							
教科書名	14 美容実習 I				教材名	15 DEMIDOヘッドスパマニュアル		
設備名・機器名	16 バックシャンプー台、ドライヤー				関連サイト	17 https://demido.jp/		
関連前科目	18 -なし				関連後科目	19 イーラル ヘッドキュア（美容実習 応用）		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月18日	ガイダンス/授業概要と目的	安全管理の基本説明/シャンプー台の名称と取り扱い方、施術の手順					
第2回	4月25日	頭皮・毛髪の構造と機能 シャワーでの流し方	毛根、皮脂腺、角質層など/シャワーヘッドの使い方と毛髪の流し方					
第3回	5月9日	シャンプーの種類と成分、pH	アニオン界面活性剤について/泡立て方					
第4回	5月16日	シャンプー技術①	プレジャン、予洗について（実践）					
第5回	5月30日	ヘッドスパ（講義）	日本の平均年齢とスパの必要性（座学40分） マッサージポイント実技（実技50分）					
第6回	6月6日	ヘッドスパ（講義）	頭皮理論/スカルプハンドブック（座学45分） シャンプースパ（実技45分）					
第7回	6月13日	トリートメント技術と塗布方法	ホームケアとサロンケアの違い					
第8回	6月20日	ヘッドスパとは	効果/禁忌/歴史					
第9回	6月27日	ヘッドスパの種類と目的別アプローチ	リラクゼーション・育毛など					
第10回	7月4日	ヘッドスパ（講義）	DEMIDO商品勉強会（座学30分） シャンプースパ&ドレナージュスパ（実技60分）					
第11回	7月11日	ヘッドスパ（実践）	頭皮診断・カウンセリング（実技40分） シャンプースパ&ドレナージュスパ（実技60分）					
第12回	7月18日	シャンプー、トリートメント （実践）	相モデルで実践					
第13回	7月25日	ヘッドスパ（検定）	スカルプ理論テスト（座学25分） 実技テスト（実技65分）					
第14回	7月29日	総合実習	シャンプー、トリートメント、ヘッドスパの技術チェックと相互評価					
第15回	9月5日	総合実習	実習（相互評価）と今後の課題提示					
第 回								
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 21.								
当該科目の到達度を測るための方法、点数、配分、合格基準、等、客観的なデータによる。①筆記試験の場合は、設問数・時間・合格点数を明記すること。②記述式筆記試験の場合は、記述すべきワードの最低要件・回答時間・文字数等と評価点数配分。③実技による判定試験は、判定する項目・点数配分（加減点式or減点式）・時間配分なども明記すること。④レポート提出の場合は、別紙「レポート評価の仕方」参照。⑤国家資格・国家検定・民間検定の科目の場合には該当する資格試験の合格基準と試験方法に準ずること。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験								秀（S）：100点～90点
②確認テスト								優（A）： 89点～80点
③課題レポート								良（B）： 79点～70点
④授業態度		1位		2位	3位			可（D）： 69点～60点
⑤作品								不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション								
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	小林昌子	シラバス承認者	山根大助	授業担当教員	石田美紀			
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/			
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所			作成者	Checker(確認者)		
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 ¹		美容実習（国家試験課題カット）		学科名 （コース名）	美容科(昼)			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	実習		学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁵	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修		単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹	美容師国家試験	
科目の概要 （全コマ数を俯瞰して）		¹ 美容師実技試験、美容技術（第1課題カッティング）における試験課題の作成方法について正しく理解し必要な知識と技能をしっかりと身につける。							
科目の到達目標 （教育課程の位置づけ）		¹ 試験課題スタイルを国家試験練習用のモデルウィッグにて40分以内でカットする。							
受講条件		¹ 美容実習（カット基礎）の単位履修							
教科書名		¹ 美容師技術試験課題「技術の解説」第6版				教材名 ¹	オリジナルプリント		
設備名・機器名		¹ テーブル、モニター				関連サイト ¹	理容師美容師試験研修センター https://www.rbc.or.jp/		
関連前科目		¹ 美容実習（カット基礎）				関連後科目 ¹	美容実習（国家試験課題 総合Ⅱ）		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上/単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	①4月16日 ②4月17日	スタイルの概要		国家試験課題のスタイルを理解し、作成に必要なブロッキングができる。					
第2回		ブロッキング、ガイドライン		ブロッキング、ガイドラインを2分以内にできる。					
第3回	①4月23日 ②4月24日	ガイドラインのカッティング		ガイドラインの切り方を理解しカットする。					
第4回		第3ブロックのカッティング		ガイドラインと第3ブロックの切り方、つなぎ方を理解しカットする。					
第5回	①5月7日 ②5月8日	第1ブロックのカッティング		第1ブロックを理解しセイルレングスカットをする。					
第6回		第2ブロックのカッティング		第2ブロックを理解し、セイルレングスカットからレイヤーカットに変化させながらカットする。					
第7回	①5月14日 ②5月15日	フロントのカッティング		前髪の幅、長さを理解し指定通りにカットする					
第8回		サイドのカッティング		フロントとサイドのフェイスラインをつなぎ、フェイスラインとトップをカットする。					
第9回	①5月21日 ②5月22日	ブロッキング、バックの復習		ブロッキングをとるところから第1～3ブロックまでをカットする。					
第10回		フロント、サイド復習		フロントをカットしフェイスラインをつくりサイドをカットする。					
第11回	①5月28日 ②5月29日	全頭カット①		12cm・フロント8cmの条件にて全頭をカットする。					
第12回		全頭カット②		10cm・フロント6cmの条件にて全頭をカットする。					
第13回	①6月4日 ②6月5日	仕上がりチェック、シザーワーク		10cm(前髪6cm)の仕上がりの確認 全頭6cmで早切り練習					
第14回		全頭カット③		14cm・前髪10cmで全頭のカット手順を復習（2体目配布）					
第15回	①6月18日 ②6月19日	全頭カット⑥		12cm・8cmで全頭50分でカットできる					
第16回		審査範囲の確認と審査		審査範囲と条件を理解し・グループで審査範囲の技術確認をする。					
第17回	①6月25日 ②6月26日	カット手順復習・期末試験について		全頭のカット手順の復習、期末試験の採点項目説明（技術・衛生）					
第18回		全頭カット		60分タイム計測、グループでの審査（技術確認）					
第19回	①7月2日 ②7月3日	全頭カット		60分タイム計測、採点項目の確認					
第20回		全頭カット		技術確認と修正					
第21回	①7月9日 ②7月10日	全頭カット		50分タイム計測、採点項目の確認					
第22回		全頭カット		技術確認と修正					
第23回	①7月23日 ②7月24日	全頭カット		50分タイム計測、採点項目の確認					
第24回		全頭カット		技術確認と修正					
第25回	①7月30日 ②7月31日	全頭カット		40分タイム計測、採点項目の確認					
第26回		全頭カット		技術確認と修正					
第27回	①8月6日 ②8月4日	全頭カット		40分タイム計測、採点項目の確認					
第28回		全頭カット		技術確認と修正					
第29回	①② 8月7日	期末テスト		国家試験課題のスタイルを40分でカッティング					
第30回		期末テスト							
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。									
①技術期末試験【配点90%】国家試験の審査項目と配点に準ずる（プラス・マイナス2cm以上の誤差にて減点） ④授業態度【配点10%】1コマ欠席につき（-1点）、授業中に2回注意を受けた場合（-3点）									

2023年度シラバス

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①技術期末試験	2 位				1 位	90	秀（S）：100点～90点 優（A）： 89点～80点 良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下
②確認テスト							
③課題レポート							
④授業態度				1 位		10	
⑤作品							
⑥プレゼンテーション							
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	福井純子	シラバス承認者	山根大助	授業担当教員	福井純子、岡田琴子	
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukui/	

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2023年度シラバス

科目名 ¹	美容実習（国家試験課題総合Ⅰ）			学科名（コース名） ²	美容科			学年	2学年
授業形態 ⁴	実習		学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	国家資格	
教育課程区分 ⁷	必修		単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	美容師国家試験	
科目の概要（全コマ数を俯瞰して） ¹¹			国家試験課題第二課題の7段構成を理解すること。各段に入るピンカールの仕上がり状態を理解すること。ピンギングの条件を理解すること。						
科目の到達目標（教育課程の位置づけ） ¹²			ノーパート7段構成を30分以内に仕上げる 国家試験合格レベルに相当する作品を仕上げる						
受講条件 ¹³			美容実習（ウェーブ）の単位履修						
教科書名 ¹⁴			美容実習Ⅰ			教材名 ¹⁵	美容師実技課題試験「技術の解説」		
設備名・機器名 ¹⁶			テーブル、モニター			関連サイト ¹⁷	理容師美容師試験研修センターhttps://www.rbc.or.jp/		
関連前科目 ¹⁸			美容実習（ウェーブⅠ）			関連後科目 ¹⁹	美容実習（国家試験課題総合Ⅱ）		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰									
回（コマ）	開講日		授業コマの主題（タイトル）	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
	1組	2組							
第1回	4月14日	4月16日	AWウィッグのカットとパーマ	4月14日（AM）1組…応用実習の時間内でAWのウィッグカット⇒午後からパーマ 4月14日（PM）2組…応用実習の時間内でAWのウィッグカット⇒16日にパーマ				※1回で2コマ分	
第2回	5月19日	5月21日	1年次の復習とタイム取り	1～4段目までのウェーブとピンカールを含めた構成の見直しと4段目まで15分間で作成し、5段目以降のウェーブ幅と左右の繋がりが出来、10分間で作成できる。				オリジナルの7段構成のプリント	
第3回	6月2日	6月4日	5段目以降のピンカール①	5段目リフトカールの手順を理解し、5ケのループの大きさ、ピンギングの方向が整っている状態。1ケ1分のタイム内で作ることが出来る。					
第4回	6月9日	6月18日	5段目以降のピンカール②	5段目のピンカールの復習をし、1ケ40秒で作成する事ができる。 6段目のピンカールの作成手順と1ケ1分で作成することが出来る。					
第5回	6月16日	6月25日	5段目以降のピンカール③	5段目、6段目のピンカールの復習をし、1ケ30秒で作成する事ができる。 7段目のピンカールの作成手順を理解し、1ケ1分で作成する事ができる。					
第6回	6月23日	7月2日	7段構成の見直し①	1～7段目の構成が理解出来ているか確認 全頭35分以内で出来るようにタイム取りを実施					
第7回	6月30日	7月9日	7段構成の見直し②	1～5段目までの小テストを実施（タイム20分以内） 6段目以降は、復習とタイム取りを実施。					
第8回	7月14日	7月23日	7段構成の見直し③	1～7段目の構成が理解出来ているか確認 全頭35分以内で出来るようにタイム取りを実施					
第9回	7月28日	7月30日	全頭タイム取りと構成の見直し①	1～7段目の構成が理解出来ているか確認 全頭35分以内で出来るようにタイム取りを実施					
第10回	8月4日	8月6日	全頭タイム取りと構成の見直し②	1～7段目の構成が理解出来ているか小テストを実施（全頭35分） ピンカールの仕上がり、ウェーブの幅など苦手箇所の練習とタイム取りを実施					
第11回	8月25日	8月27日	全頭タイム取りと構成の見直し③	全頭33分で仕上げられること。					
第12回	9月1日	9月1日	全頭タイム取りと構成の見直し④	全頭32分で仕上げられること。				3コマ	
第13回	9月3日	9月3日	全頭タイム取りと構成の見直し⑤	全頭31分で仕上げられること。				3コマ	
第14回	9月4日	9月4日	試験前対策①	全頭30分で仕上げられること。 期末試験を前提にタイム計測を実施。				3コマ	
第15回	9月4日	9月4日	試験前対策②	全頭30分で仕上げられること。 期末試験を前提にタイム計測を実施。					
第 回			期末試験	全頭30分で7段構成を作成。					
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹									
当該科目の到達度を測るための方法、点数、配分、合格基準、等、客観的なデータによる。①筆記試験の場合は、設問数・時間・合格点数を明記すること。②記述式筆記試験の場合は、記述すべきワードの最低要件・回答時間・文字数等と評価点数配分。③実技による判定試験は、判定する項目・点数配分（加減点式or減点式）・時間配分なども明記すること。④レポート提出の場合は、別紙「レポート評価の仕方」参照。⑤国家資格・国家検定・民間検定の科目の場合には該当する資格試験の合格基準と試験方法に準ずること。									
↓判定方法\該当する観点→			知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			1					90	秀（S）：100点～90点
②確認テスト			2					5	優（A）：89点～80点
③課題レポート									良（B）：79点～70点
④授業態度					1	2		5	可（D）：69点～60点
⑤作品									不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション									
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。								不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	小林昌子		シラバス承認者	山根大助		授業担当教員	石田美紀		
						実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/ishida/		
更新履歴									
シラバス更新履歴			更新理由	更新箇所			作成者	Check者（確認者）	
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									